



2022年3月期 第2四半期

決算説明資料

証券コード：9058

トランコム株式会社

2021年10月26日



決算トピックス

- **コロナ禍で落ち込んだ幹線輸送市場/製造請負・人材派遣市場は回復基調**
 - ✓ 物流情報サービス事業は売上高/営業利益 前年比15%増
 - ✓ インダストリアルサポート事業は盤石な事業基盤を構築
- **ロジスティクスマネジメント事業は前年に引き続き堅調**
 - ✓ コロナ禍における顧客ごとの物流全体最適を追求
- **TRANCOM VISION2025 「はこぶ」創造に向け、スピード感をもって取り組みを推進**

業績

(単位：百万円)

	2021年3月期			2022年3月期						計画	
	第1四半期	第2四半期	上半期累計	第1四半期	前期比	第2四半期	前期比	上半期累計	前期比	上半期計画	計画比
売上高	35,932	36,712	72,645	39,605	10.2%	40,110	9.3%	79,716	9.7%	78,830	1.1%
営業利益	1,572	2,020	3,592	2,164	37.7%	1,795	-11.1%	3,959	10.2%	3,670	7.9%
(売上高比)	(4.4%)	(5.5%)	(4.9%)	(5.5%)	(+1.1P)	(4.5%)	(-1.0P)	(5.0%)	(+0.1P)	(4.7%)	(+0.3P)
経常利益	1,538	2,127	3,666	2,201	43.1%	1,808	-15.0%	4,010	9.4%	3,720	7.8%
(売上高比)	(4.3%)	(5.8%)	(5.0%)	(5.6%)	(+1.3P)	(4.5%)	(-1.3P)	(5.0%)	(+0.0P)	(4.7%)	(+0.3P)
親会社株主に帰属する当期純利益	904	1,657	2,562	1,453	60.6%	1,146	-30.8%	2,600	1.5%	2,460	5.7%
(売上高比)	(2.5%)	(4.5%)	(3.5%)	(3.7%)	(+1.2P)	(2.9%)	(-1.6P)	(3.3%)	(-0.2P)	(3.1%)	(+0.2P)

売上高

- ・前年コロナ禍の影響を大きく受けた物流情報サービス事業の増収
連結計9.7%の増収

営業利益

- ・全事業セグメントにおいて増益 連結計10.2%の増益

当期純利益

- ・連結計1.5%の増益

2022年3月期第2四半期

「はこぶ」
Transport



を創造する
Creating



業績／セグメント別

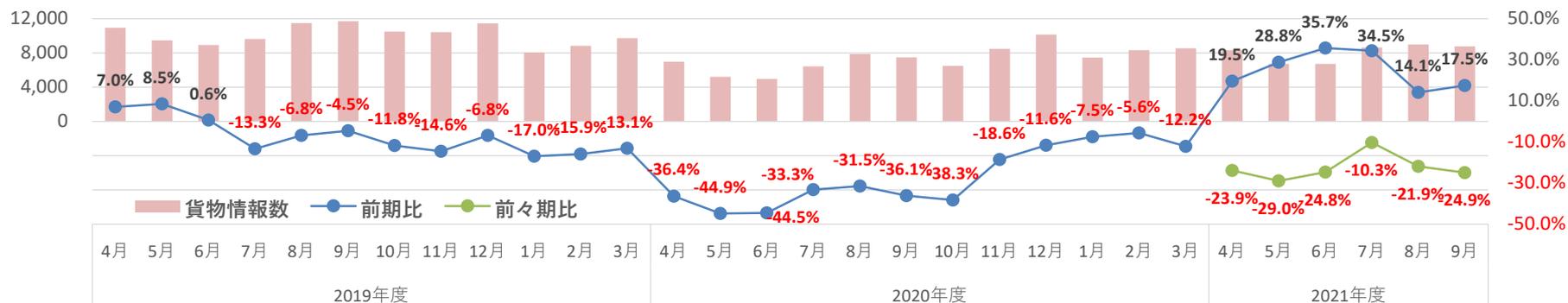
(単位：百万円)

		2021年3月期			2022年3月期						計画	
		第1四半期	第2四半期	上半期累計	第1四半期	前期比	第2四半期	前期比	上半期累計	前期比	上半期計画	計画比
ロジスティクス マネジメント事業	売上高	13,751	13,700	27,451	14,037	2.1%	13,853	1.1%	27,891	1.6%	26,900	3.7%
	営業利益 (売上高比)	1,016 (7.4%)	1,080 (7.9%)	2,097 (7.6%)	1,214 (8.7%)	19.4% (+1.3P)	972 (7.0%)	-10.0% (-0.9P)	2,187 (7.8%)	4.3% (+0.2P)	2,010 (7.5%)	8.8% (+0.3P)
物流情報 サービス事業	売上高	18,492	19,158	37,651	21,344	15.4%	22,036	15.0%	43,381	15.2%	43,790	-0.9%
	営業利益 (売上高比)	539 (2.9%)	782 (4.1%)	1,322 (3.5%)	796 (3.7%)	47.7% (+0.8P)	734 (3.3%)	-6.2% (-0.8P)	1,531 (3.5%)	15.8% (+0.0P)	1,520 (3.5%)	0.7% (+0.0P)
インダストリアル サポート事業	売上高	1,494	1,367	2,862	1,557	4.2%	1,605	17.4%	3,162	10.5%	2,850	11.0%
	営業利益 (売上高比)	24 (1.6%)	22 (1.6%)	47 (1.6%)	76 (4.9%)	210.9% (+3.3P)	86 (5.4%)	282.1% (+3.8P)	162 (5.1%)	244.9% (+3.5P)	80 (2.8%)	103.1% (+2.3P)
その他	売上高	2,656	2,866	5,523	3,017	13.6%	3,026	5.6%	6,043	9.4%	5,990	0.9%
	営業利益 (売上高比)	23 (0.9%)	168 (5.9%)	192 (3.5%)	109 (3.6%)	367.0% (+2.7P)	40 (1.3%)	-76.3% (-4.6P)	149 (2.5%)	-22.1% (-1.0P)	130 (2.2%)	15.2% (+0.3P)
連結消去	売上高	-462	-379	-842	-351	-	-411	-	-763	-	-700	-
	営業利益 (売上高比)	-32 -	-34 -	-66 -	-33 -	- -	-37 -	- -	-71 -	- -	-70 -	- -
連結合計	売上高	35,932	36,712	72,645	39,605	10.2%	40,110	9.3%	79,716	9.7%	78,830	1.1%
	営業利益 (売上高比)	1,572 (4.4%)	2,020 (5.5%)	3,592 (4.9%)	2,164 (5.5%)	37.7% (+1.1P)	1,795 (4.5%)	-11.1% (-1.0P)	3,959 (5.0%)	10.2% (+0.1P)	3,670 (4.7%)	7.9% (+0.3P)

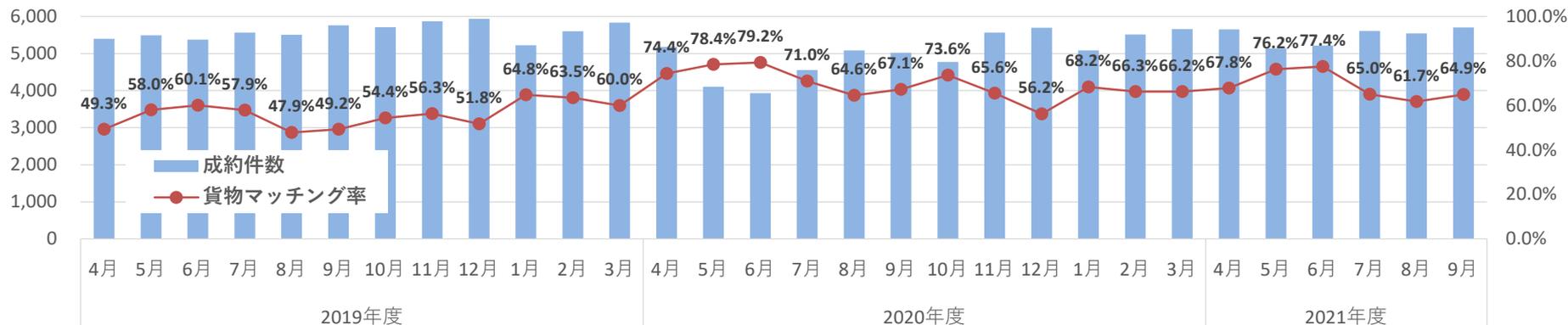


コロナ禍の事業状況

2019年4月以降の日当たり貨物情報件数と、前年・前々年同月増減率



2019年4月以降の日当たり成約件数と、貨物マッチング率



荷動きの状況

コロナ禍の2020年度と比較すると回復傾向
しかしながらコロナ前の2019年度までには戻らず

2022年3月期 通期見通し

「はこぶ」
Transport



を創造する
Creating



(単位：百万円)

	2021年3月期			2022年3月期 (予想)					
	上半期	下半期	通期	上半期 (実績)	前期比	下半期 (予想)	前期比	通期	前期比
売上高	72,645	79,640	152,285	79,716	9.7%	83,760	5.2%	163,470	7.3%
営業利益	3,592	4,651	8,243	3,959	10.2%	4,290	-7.8%	8,250	0.1%
(売上高比)	(4.9%)	(5.8%)	(5.4%)	(5.0%)	(+0.1P)	(5.1%)	(-0.7P)	(5.0%)	(-0.4P)
経常利益	3,666	4,734	8,401	4,010	9.4%	4,270	-9.8%	8,280	-1.4%
(売上高比)	(5.0%)	(5.9%)	(5.5%)	(5.0%)	(+0.0P)	(5.1%)	(-0.8P)	(5.1%)	(-0.4P)
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,562	3,167	5,730	2,600	1.5%	2,870	-9.4%	5,470	-4.5%
(売上高比)	(3.5%)	(4.0%)	(3.8%)	(3.3%)	(-0.2P)	(3.4%)	(-0.6P)	(3.3%)	(-0.5P)

※2021年4月公表の通期業績予想を据え置き

売上高

- ・ 前年コロナ禍の影響を大きく受けた物流情報サービス事業/
インダストリアルサポート事業で10%強の増収見込み
連結計7.3%の増収

営業利益

- ・ 将来に向けた先行費用を見込み、前年同等額を計画

2022年3月期 通期見通し

「はこぶ」
Transport



を創造する
Creating



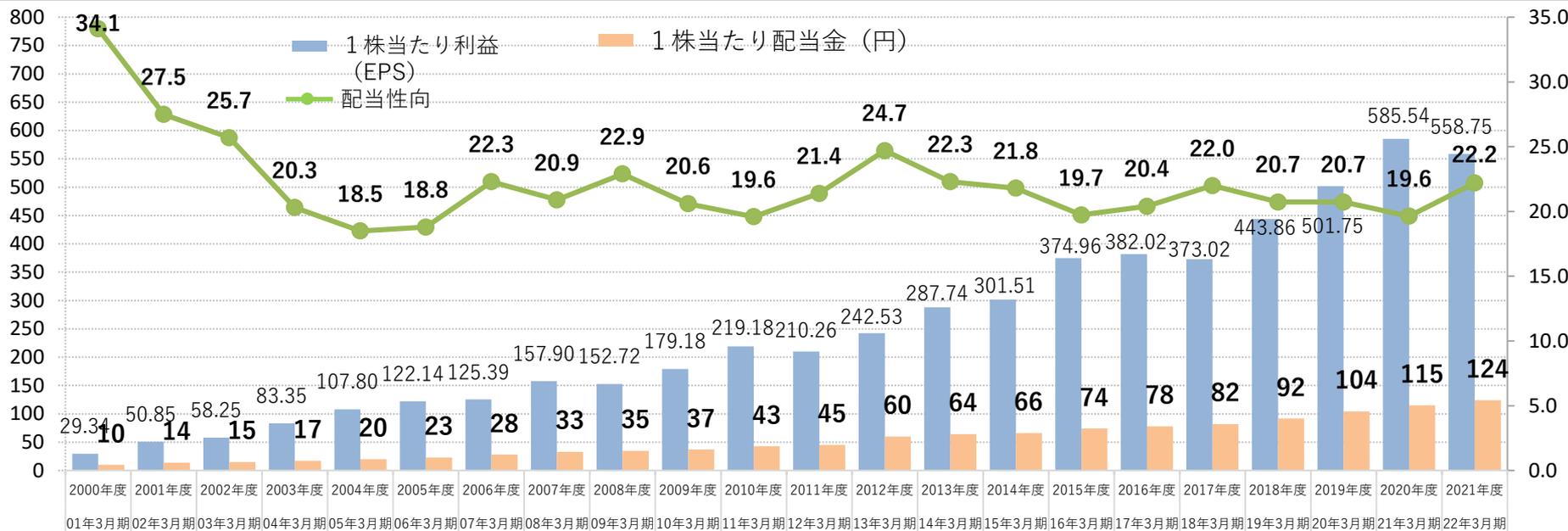
セグメント別

(単位：百万円)

		2021年3月期			2022年3月期 (予想)						計画	
		上半期	下半期	通期	上半期 (実績)	前期比	下半期 (修正予想)	前期比	通期	前期比	下半期 (当初計画)	計画比
ロジスティクス マネジメント事業	売上高	27,451	27,871	55,322	27,891	1.6%	27,210	-2.4%	55,100	-0.4%	28,170	-3.4%
	営業利益 (売上高比)	2,097 (7.6%)	2,500 (9.0%)	4,598 (8.3%)	2,187 (7.8%)	4.3% (+0.2P)	2,090 (7.7%)	-16.4% (-1.3P)	4,280 (7.8%)	-6.9% (-0.5P)	2,340 (8.3%)	-10.7% (-0.6P)
物流情報 サービス事業	売上高	37,651	43,295	80,946	43,381	15.2%	47,370	9.4%	90,750	12.1%	47,680	-0.7%
	営業利益 (売上高比)	1,322 (3.5%)	1,850 (4.3%)	3,172 (3.9%)	1,531 (3.5%)	15.8% (+0.0P)	1,850 (3.9%)	0.0% (-0.4P)	3,380 (3.7%)	6.5% (-0.2P)	1,860 (3.9%)	-0.5% (+0.0P)
インダストリアル サポート事業	売上高	2,862	3,018	5,880	3,162	10.5%	3,340	10.7%	6,500	10.5%	3,170	5.4%
	営業利益 (売上高比)	47 (1.6%)	138 (4.6%)	185 (3.2%)	162 (5.1%)	244.9% (+3.5P)	200 (6.0%)	44.2% (+1.4P)	360 (5.5%)	93.8% (+2.3P)	170 (5.4%)	17.6% (+0.6P)
その他	売上高	5,523	6,192	11,716	6,043	9.4%	6,560	5.9%	12,600	7.5%	6,290	4.3%
	営業利益 (売上高比)	192 (3.5%)	231 (3.7%)	423 (3.6%)	149 (2.5%)	-22.1% (-1.0P)	220 (3.4%)	-4.9% (-0.3P)	370 (2.9%)	-12.6% (-0.7P)	280 (4.5%)	-21.4% (-1.1P)
連結消去	売上高	-842	-737	-1,580	-763	-	-720	-	-1,480	-	-670	-
	営業利益 (売上高比)	-66 -	-69 -	-136 -	-71 -	- -	-70 -	- -	-140 -	- -	-70 -	- -
連結合計	売上高	72,645	79,640	152,285	79,716	9.7%	83,760	5.2%	163,470	7.3%	84,640	-1.0%
	営業利益 (売上高比)	3,592 (4.9%)	4,651 (5.8%)	8,243 (5.4%)	3,959 (5.0%)	10.2% (+0.1P)	4,290 (5.1%)	-7.8% (-0.7P)	8,250 (5.0%)	0.1% (-0.4P)	4,580 (5.4%)	-6.3% (-0.3P)

株主還元

2000年以降の1株当たり配当金/1株当たり利益/配当性向



株主還元方針

事業成長を目的とした積極投資を行う一方で、株主への継続的な還元/連続増配とする

今期中間配当/期末配当予想について

前期より9円増配し年間配当金124円（21期連続増配） 中間配当金62円 期末配当金62円

TRANCOM VISION 2025

進捗状況

成長イメージと主要戦略

TRANCOM VISION 2025

2021

2025

「はこぶ」創造に向けて

量を増やす

×

高度化
変化

×

協業

×

アナログから
デジタルへ

積極投資 5年間で350億円

〈 DX・拠点・車両・アライアンス・人材 〉

TRANCOM VISION 2030

「はこぶ」
プラットフォームの提供

広く多くの企業に利用される
プラットフォーム
(=最適に「はこぶ」かたち)
の実現

主要戦略

1. 輸配送能力の増大・向上 / 多種多様な輸配送モードの拡充
2. 国内における取り扱う輸送量の増大
3. 求貨求車サービスの事業高度化
4. 他社との協業によるイノベーション強化
5. デジタル化の進化へ向けたシステム開発/他社とのデータ関係構築

市場規模

物流業界全体

約24兆円

トラック運送事業

約14.4兆円

登録トラック台数

約1,292,000台

宅配事業

約2.4兆円

登録トラック台数

約288,000台

出所：日本物流団体連合会「数字で見る物流2019」
一般財団法人自動車検査登録情報協会「車種別（詳細）保有台数表」

TRANCOMの「はこぶ」とは

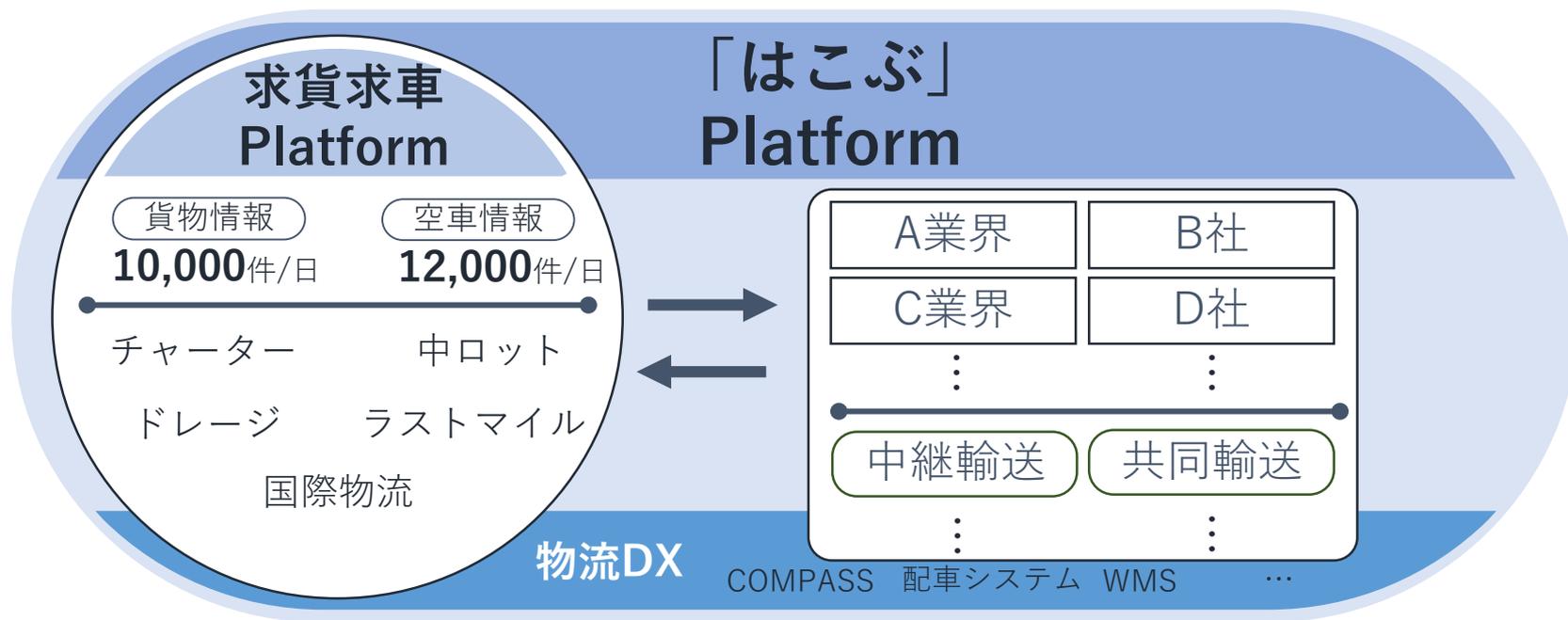
効率的に「はこぶ」Platformの提供

求貨求車Platform

日本国内のスポット貨物輸送ニーズに柔軟に対応できるプラットフォームを保持

手配する「はこぶ」量を増やす +

製造メーカーを中心とした、輸送量の多い顧客の定期/定量貨物の手配の増大
工夫した「はこびかた」の創出による輸配送能力の増大・向上





TRANCOMの「はこぶ」とは

「はこぶ」 Platform

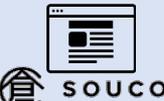
取引先



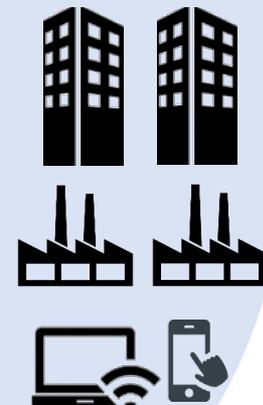
TRANCOM

関係企業/仕組み

各企業

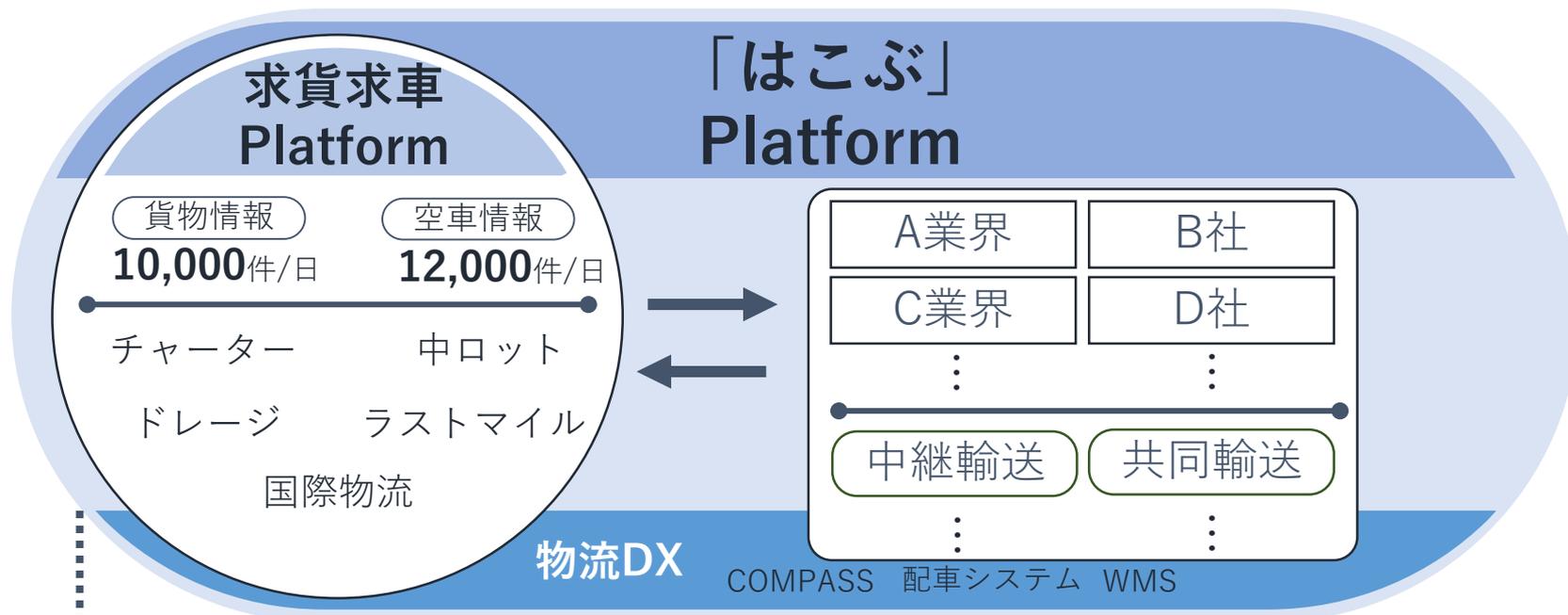


パレット回収



「つなぐ」 Connect

具体的な取り組み

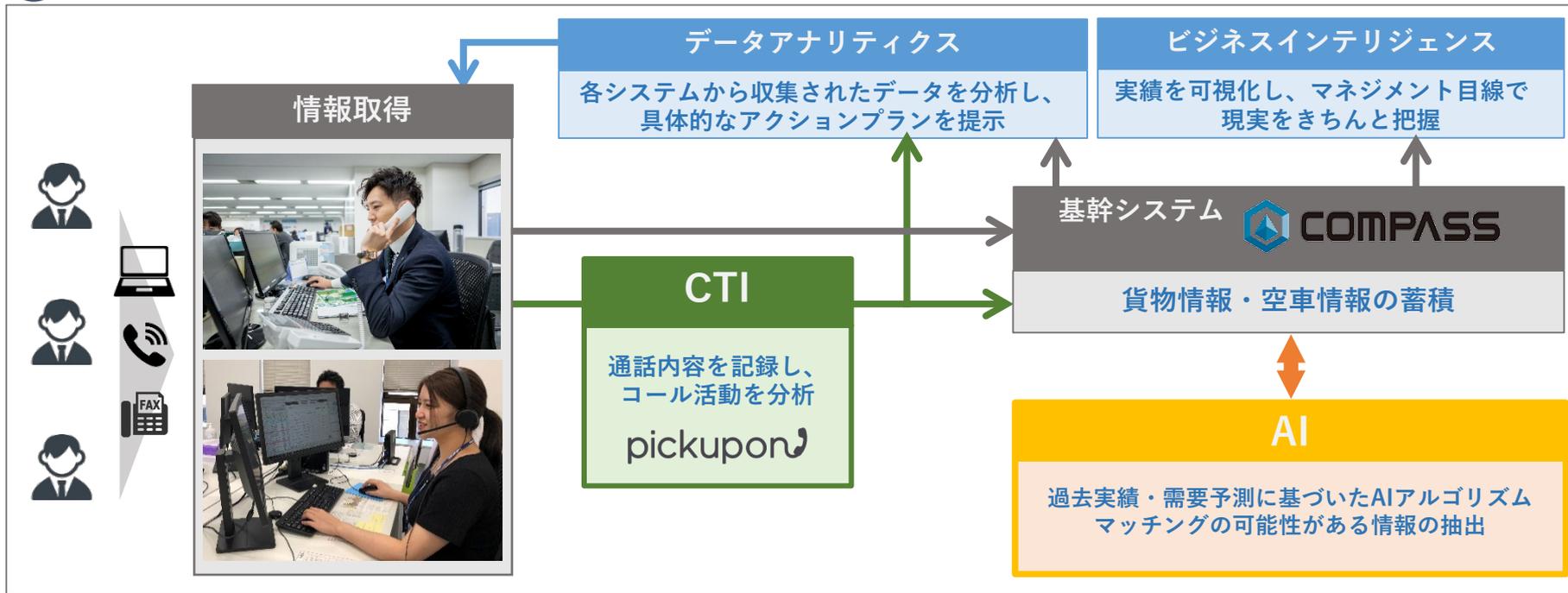


- ① サービスレベルの向上/業務効率アップ
- ② 求貨求車サービスの高度化
- ③ 全社営業の更なる強化
- ④ 「はこびかた」の充実
- ⑤ 大型拠点の活用

- ⑥ 社内の「はこぶ」に関わる情報のシステム化
- ⑦ 次世代COMPASSの検討・
- ⑧ 次世代物流センターの更なる展開

具体的な取り組み

1 配車業務のDX化によるサービスレベル/業務効率向上



2 求貨求車サービスの高度化/対応領域の拡大

手配車両
の構成



■ ウイング車両

■ 平ボディー車両

■ ユニック等

■ 冷凍冷蔵車両

■ 小型・軽車両

■ トレーラー

特殊車両（冷凍冷蔵/重厚長大）
マッチングサービス拡充

近距離（ラストマイル）配送
ドレージ輸送のへ領域拡充

具体的な取り組み

3 全社営業の更なる強化

- ・ 輸送量の多い顧客にフォーカスした営業活動強化
- ・ 物流情報サービス顧客へのアプローチ強化

4 「はこびかた」の充実

- ・ 既存顧客をベースにした中継輸送や連結トラック/スワップボディを活用した輸送など工夫した「はこびかた」の創出

5 大型拠点の活用

- ・ 関東エリアでの新規物流業務の獲得



▲次世代大型物流センターと位置付ける「(仮称)蓮田LC」

機能性・利便性の高い物流施設

- ✓ 地上3階建、延床面積約23,787坪
- ✓ 圏央道と東北自動車道がジャストにクロスする物流適地に立地
- ✓ 大型車両の乗り入れ可能
- ✓ 1階の両面バース設計による物流リードタイムの短縮
- ✓ トラックバース91台、トラック待機場30台確保
- ✓ スムーズな輸配送が可能

■ 自社中継拠点 (静岡県袋井市)



▲大型トラック車両が乗り入れ可能な広い駐車スペース確保



▲ダブル連結トラック

具体的な取り組み

6 社内の「はこぶ」に関わる情報のデジタル化

- ・配車業務等、各運行データのシステム開発

7 次世代COMPASSの検討

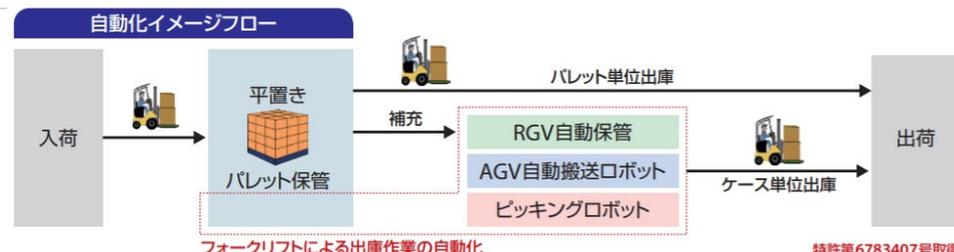
8 次世代物流センターの更なる展開

- ・ケースピッキング業務の自動化推進

TRANCOMのDX 将来イメージ



3PL事業者ならではの斬新DXアプローチ

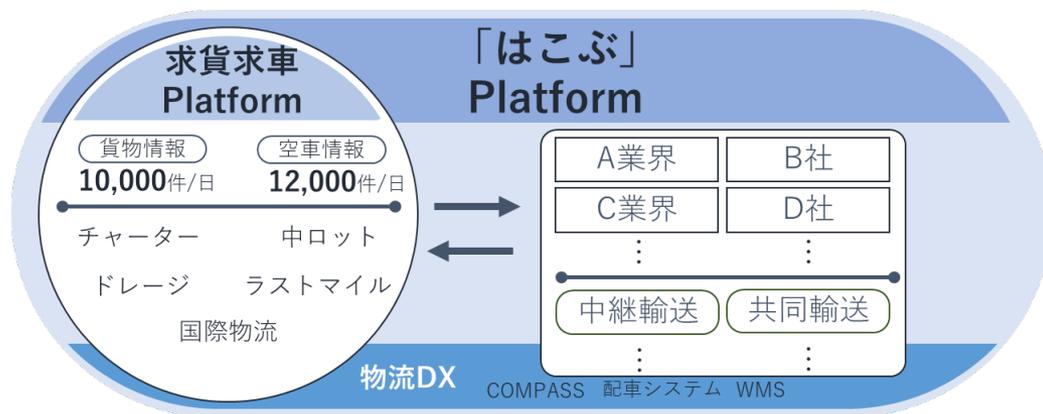


特許第6783407号取得



1/3のコストで大幅省人化を実現
AGV+RGVのコンビで特許取得

「はこぶ」創造に向けた取り組み



2019

「はこぶ」創造に向けて

- ✓ 日本GLP社/モノフル社との業務提携
- ✓ 日野自動車社/NLJ社との相互の資本業務提携
- ✓ 第18回グリーン物流パートナーシップ会議
経済産業大臣賞受賞

2020

- ✓ 国土交通省 実証事業採択 パレット化促進
- ✓ 次世代物流センター 自動化に向けChinoh.Ai社
と資本業務提携
- ✓ 運送業界向けオンライン車両売買プラットフォーム
「トラックーズ」を運営するAzoop社と業務提携
- ✓ 宅配型トランクルームサービス「AIR TRUNK」を
提供するエアトランク社と資本業務提携
- ✓ 第19回グリーン物流パートナーシップ会議
国土交通大臣賞受賞
- ✓ 業務効率化とビックデータ活用を強化
「TRANCOM Logistics Data LAB」を新設

2021

「はこぶ」創造に向けて

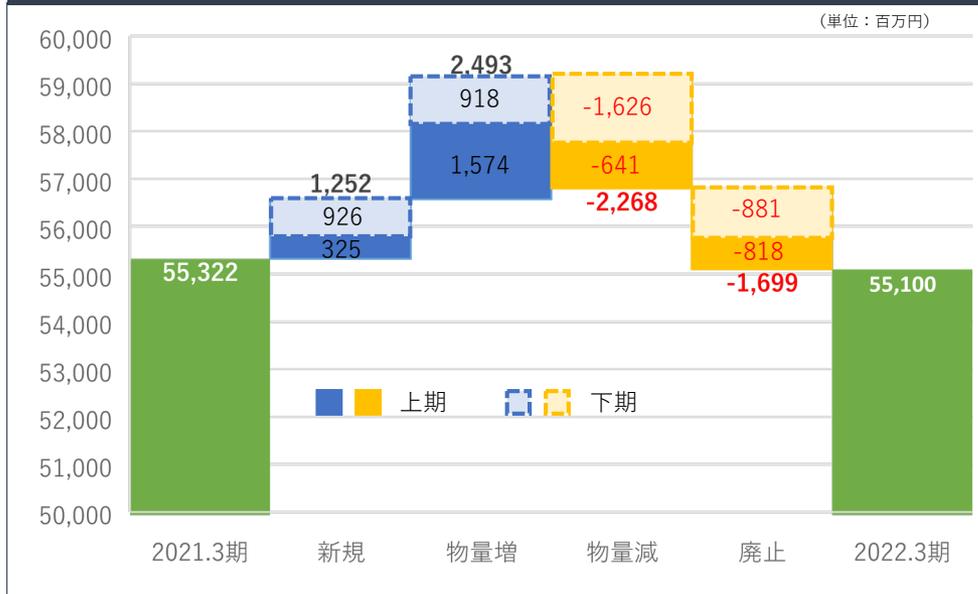
- ✓ 中継拠点として袋井営業所（静岡県袋井市）拡張
- ✓ 関東エリアで多種多様な輸配送機能を持ち合わせた
コア拠点として埼玉県蓮田市に大型物流センター開設
- ✓ 倉庫と荷主のマッチングプラットフォーム「souco」
を運営するsouco社と資本業務提携
- ✓ 求貨求車サービスでCTI（Pickupon社）導入、
通話内容の見える化を実現



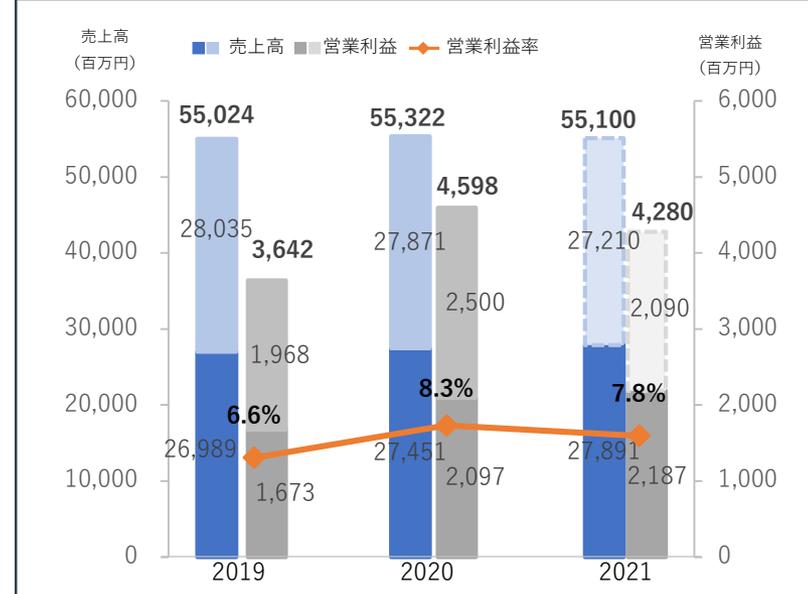
参考資料

ロジスティクスマネジメント事業

売上高増減



売上高・営業利益・営業利益率



〈主な増減要因〉

売上高

- + 前年及び今期稼働拠点の寄与
- ▲ 一部既存拠点の業務縮小・撤退

営業利益

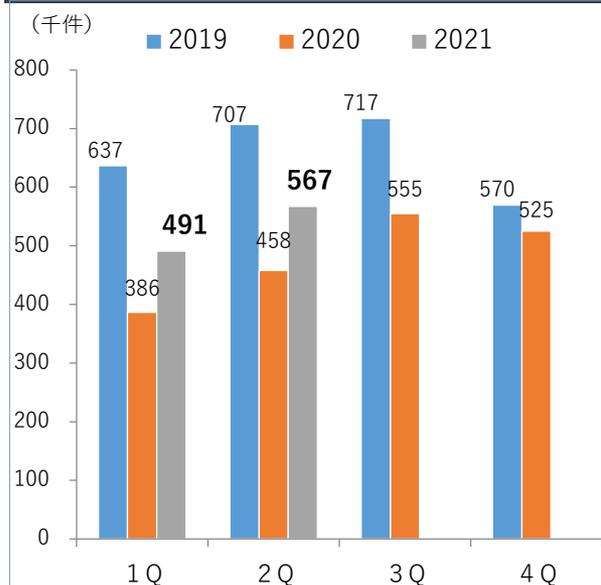
- + 既存拠点での生産性の更なる向上
- ▲ 戦略拠点（関東大型拠点）賃貸借に伴う先行投資費用の計上

2022年3月期 セグメント別

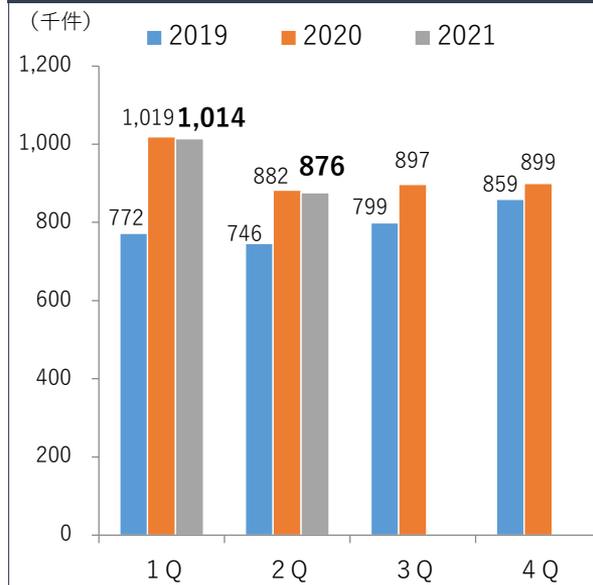


物流情報サービス事業

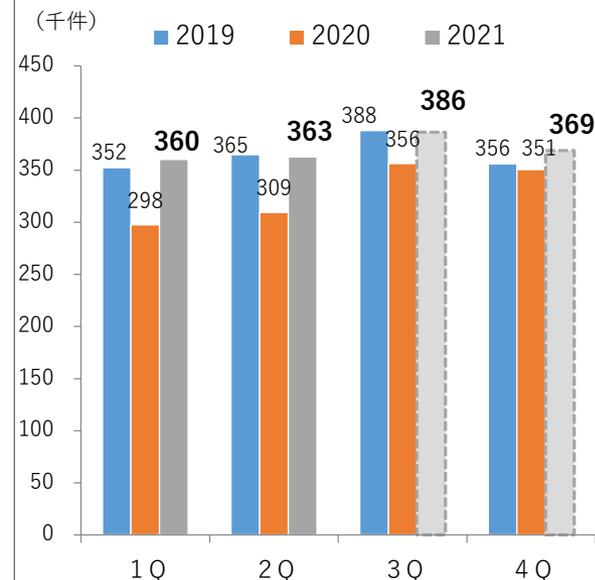
貨物情報数



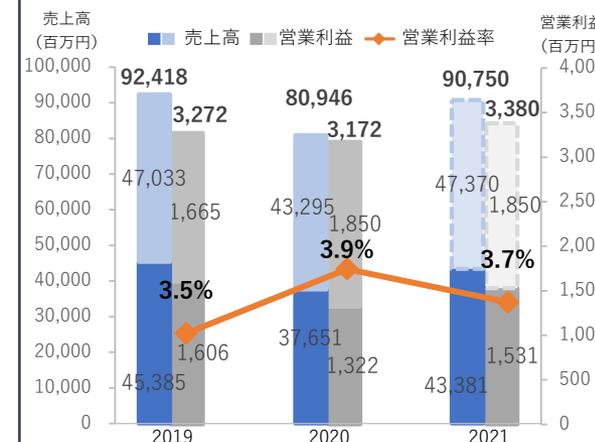
空車情報数



成約件数



売上高・営業利益・営業利益率



〈主な指標〉

情報数 (前年比)

	1Q	2Q	3Q	4Q
貨物情報数	27.1%増	23.9%増	—	—
空車情報数	0.5%減	0.7%減	—	—
成約件数	21.1%増	17.2%増	8.4%増	5.2%増

人員数 (生産性人員)

2020年9月末 604名 → 2021年3月末 578名 → 2021年9月末 579名

専属車両台数 (日)

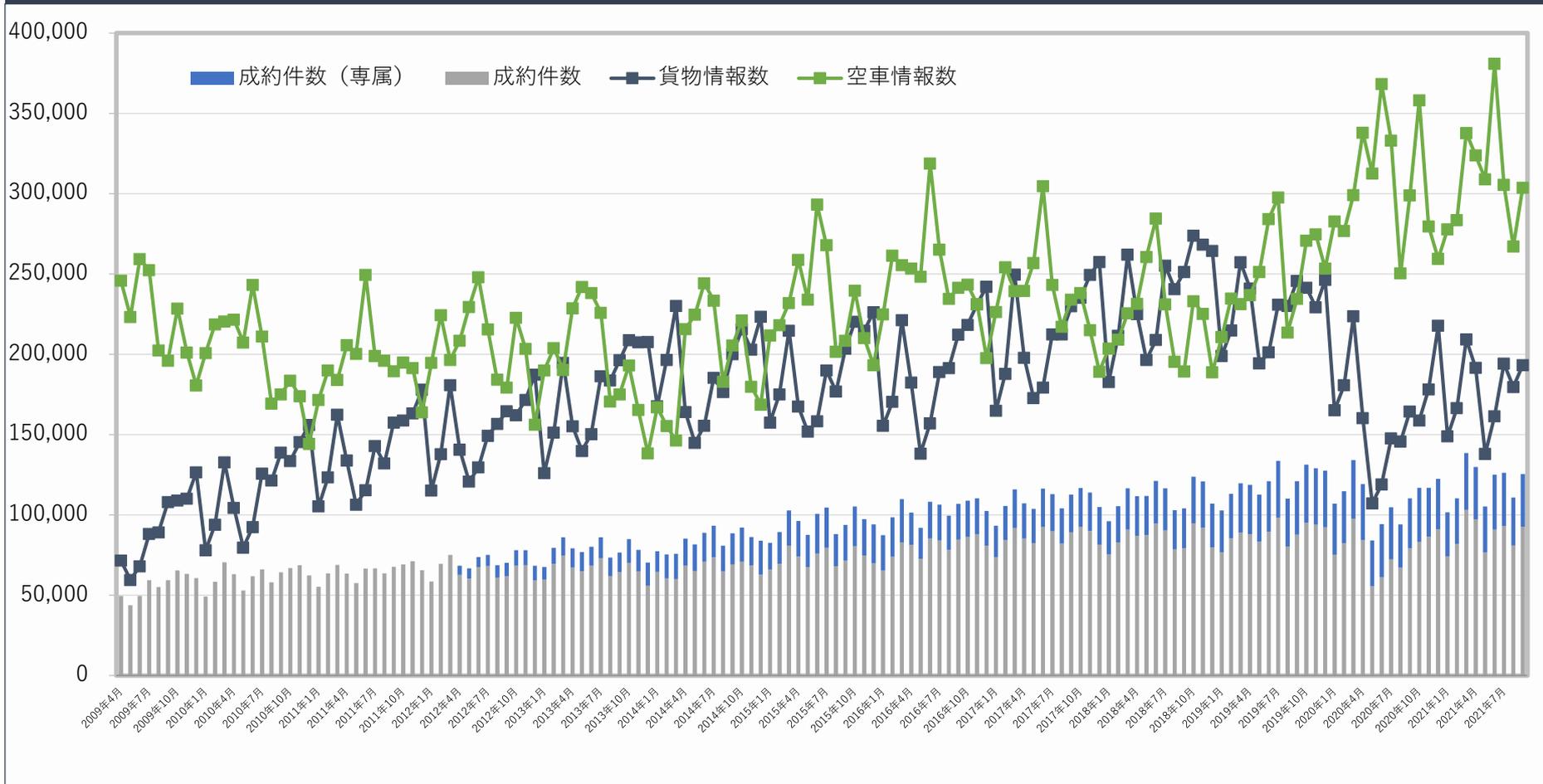
1,650台 → 1,570台 → 1,625台

※ 3Q/4Qの成約件数は計画値



物流情報サービス事業 情報数推移

情報数の推移（2009年4月～2021年9月）





インダストリアルサポート事業／その他

インダストリアルサポート事業 売上高・営業利益・営業利益率



その他 売上高・営業利益・営業利益率



〈主な増減要因〉



コロナ禍の生産回復による増収
間接人員の適正化

通期営業利益率5.5%を計画

〈主な増減要因〉



中国において新規業務拡大



将来の海外展開を見据えた人員増、
人材育成強化のため費用増

■ 上期為替 ※2020年9月末レート→2021年9月末レート

中国 (15.54円→17.30円/CNY) タイ (3.34円→3.30円/THB)

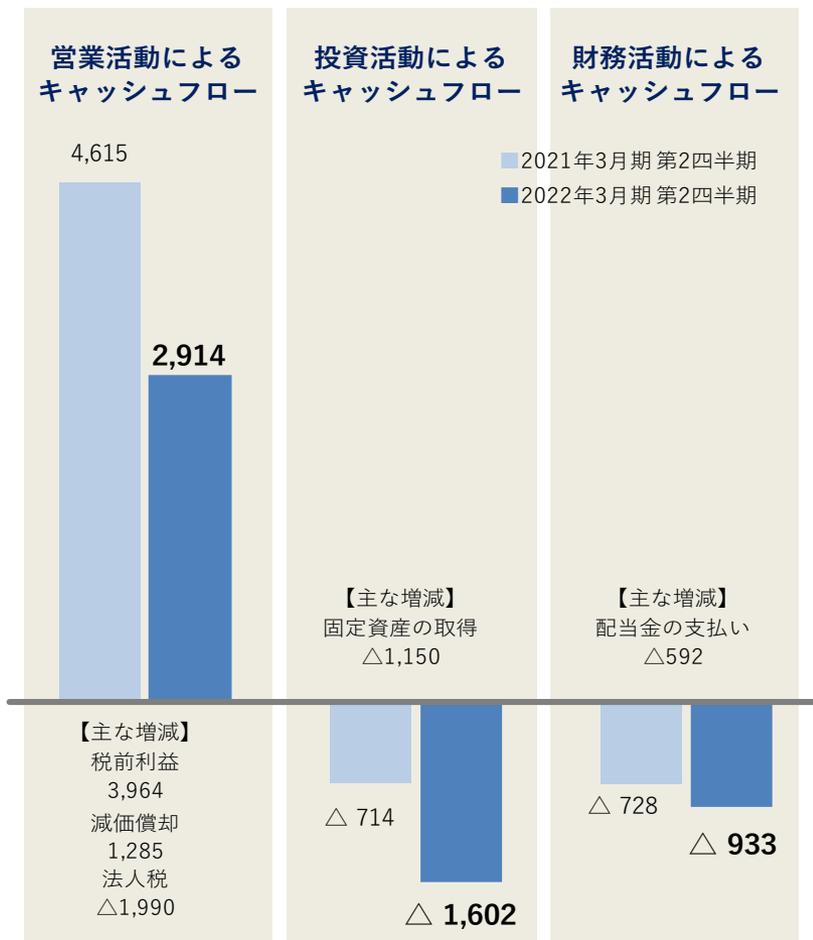
シンガポール (77.30円→82.20円/SGD)



キャッシュフロー及び財政状況

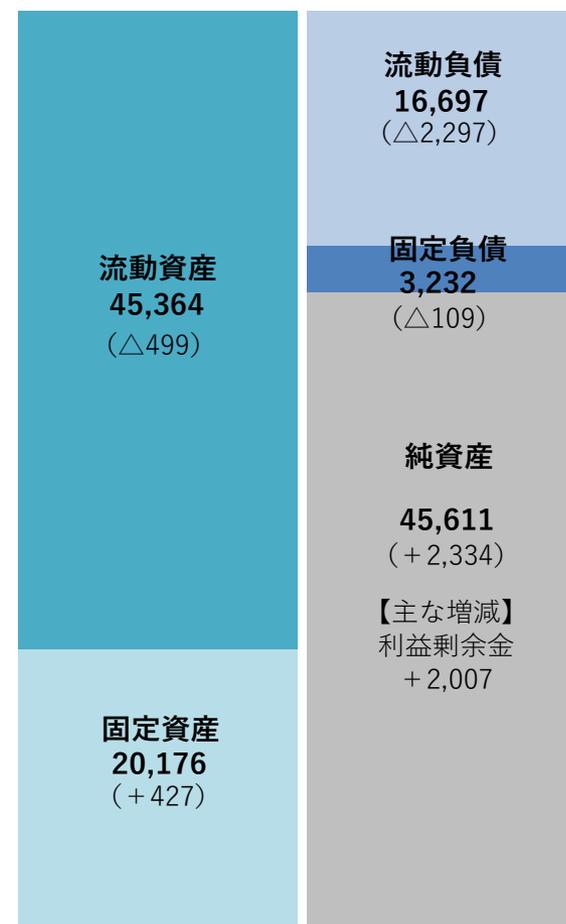
連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)



連結貸借対照表

(単位：百万円)



本資料及びIR関係のお問い合わせにつきましては、
下記までお願いいたします。

トランコム株式会社
YOUR LOGISTICS COLLABORATOR

MAIL : ir_info@trancom.co.jp
TEL.052-939-2011 FAX.052-939-2015
www.trancom.co.jp



経営企画グループ

TEL : 052-939-2023 FAX : 052-939-2015

※ 本資料には、作成時点における情報を基に予測した事業の将来見通しなどが含まれております。
将来における変動要素やリスク要因などにより、異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。